

第5回全日本社会人バスケットボール選手権大会県予選 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

- 1 開催中に新型コロナウイルス陽性者及び濃厚接触者が発生した場合の対応は下記のとおりとする。
 - (1) 開催中に陽性者が確認された場合は、関係者で協議のうえ大会中止等を検討し決定する。
 - (2) 開催中に濃厚接触者と指定された場合は、濃厚接触者及び当該チーム関係者の参加を取りやめる。
 - (3) 上記(1)(2)が発生した場合は速やかに連盟から岩手県バスケットボール協会専務理事及び競技運営部長に連絡するとともに、保健所等関係機関に連絡し対応の指導を仰ぐ。
- 2 開催前に陽性者・濃厚接触者が発生した場合の対応は下記のとおりとする。
 - (1) 陽性者本人、及び潜伏期間を含め本人が参加して練習を行ったチームは、大会に参加できない。
 - (2) 濃厚接触者と指定された本人、及び同居家族・同居者が濃厚接触と判断された場合は大会に参加できない。
- 3 開催後に陽性者・濃厚接触者が発生した場合の対応は下記のとおりとする。
 - (1) 競技会参加後5日以内に、参加チームまたは役員（審判員含）等関係者から新型コロナウイルスの陽性・濃厚接触が判明した際、当該チームまたは役員（審判員含）等関係者は、大会責任者へ速やかに報告すること。
 - (2) 上記(1)が発生した場合、大会責任者は関係機関等の指導により当該チームの試合に関わった参加チーム・役員（審判員含）等関係者に連絡し、対応を指示する。
- 4 大会運営での対応策
大会運営にあたり以下のとおりポイント感染防止に努めます。
 - (1) 会場への入場
 - 健康チェックシートに記載されている期間の検温及び会場入り口での検温を必須とし、大会本部へ健康チェックシートを提出する。平熱を超える発熱の方は来場しないことを徹底する。
 - 会場各所（入口・ベンチ・トイレなど）にアルコール消毒液を設置し、入場者にこまめな手指の消毒をお願いする。
 - 入場の際にはマスクの着用を必須とする。
 - 外靴はビニール袋に入れ各自管理する。
 - (2) 会場設営について
 - 会場内の扉・窓等はでき得る限り開放し、密閉を避ける。
 - ベンチ並びにオフィシャルは、間隔を空けて設置する。
 - 会場内のゴミ箱は使用しないこと。ゴミは各自持ち帰りを徹底すること。
 - (3) 会場内での過ごし方について
 - 密接な状況にならないよう座る場合は各自配慮すること。
 - 飲食以外でのマスクの着用は必須とする。
 - 会場から退出する際には、自チームが利用した場所の消毒・除菌を行うこと。
 - (4) 更衣室の利用について
 - 室内が密にならないよう留意のうえ使用すること。
 - (5) 競技について
 - 各ベンチ、オフィシャルテーブルに消毒用アルコールを設置する。
 - 選手、スタッフ、審判、T0、コートキーパーなど試合に関わる方は、試合の前後で必ず手指消毒を行うこととする。
 - タオル・ドリンク類は共用しないこととする。

- チームスタッフ及び交代要員、T0、コートキーパーはマスクの着用は必須とする。特にヘッドコーチがプレーヤーに対して指示を出す際にマスクを外すことの無いよう十分気を付けること。
- 試合を行ったチームは試合終了後に使用したベンチ及びオフィシャルテーブル・コートキーパーの椅子や机、機材の消毒・除菌を行う。試合後のベンチを消毒するための消毒液・ペーパータオル等は各チーム準備すること。次試合のチームがベンチに入るのは消毒除菌が完了した後とする。

(6) 審判について

- 審判員は、担当ゲームで使用する笛に必ずホイッスルカバーを装着すること。
- レフェリーマスクの使用を推奨するが、着用についてクルーで統一する必要はないこととする。

(7) 試合終了後

- 試合終了後はできるだけ早く会場から出るようにする。出る際は必ず手指をアルコール消毒する。

5 参加する選手について

参加する選手に向けて下記の事項(1)～(3)を厳守していただくよう事前に周知する。

下記事項を厳守できない場合、大会の安全を確保するため参加取り消しや退場していただく場合がある。

(1) 大会参加前の体調管理の徹底

【重要】 咳・咽頭痛・倦怠感等の体調不良・発熱などの症状がある場合は参加しない。

スタッフ等関係者においても同様とする。

大会前 2 週間において以下の項目にあてはまる方は参加しない。

- 平熱を超える発熱
- 咳、のどの痛みなどの風邪症状
- だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
- 嗅覚、味覚の異常
- 身体が重く感じる、疲れやすいなどの症状
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

※これらの症状等に該当する選手等が出たことによって、チームの編成が不可能となり棄権せざるを得ない場合には、処罰対象とはしないので、予防第一で対応を決定すること。また、コーチ有資格者が同様の理由により不在となった場合には大会実施委員会担当者に速やかに連絡を取り、指示を仰ぐこと。

(2) 大会参加中の事項

- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒
- コート以外でのマスク着用
- 大きな発声の自粛
- タオル・ドリンク類の共用をしない

(3) 大会へ参加するにあたり別添「健康チェックシート」を提出する。提出しない参加者は入場を認めない。

6 大会役員

参加する大会役員について、帯同を含む審判員は上記「4 参加する選手」と同様の事項を厳守し大会運営にあたる。

それ以外の大会役員は、大会当日に 4-(1)の項目にあてはまる場合は来場しないこととし、別添「健康チェックシート」を提出すること。

7 試合観戦について

今大会は会場への入場を制限し、入場できる者は、大会役員・チーム関係者（選手、スタッフ）のみとする。

応援に関しても、感染予防の観点から、集団でかけ声を出したり、歌を歌うようなものは禁止する。鳴り物についても同様とする。